

平成 20 年 2 月

# 松本真由子 学位論文審査要旨

主 査 岸 本 拓 治  
副主査 難 波 栄 二  
同 宮 川 征 男

## 主論文

Effects of long-term estradiol treatment on the contractile response to muscarine and muscarinic receptor subtypes in the bladder of aged female rats

(老齡雌性ラットにおけるムスカリンに対する排尿筋収縮反応と膀胱のムスカリン受容体サブタイプに対するエストロゲン補充の影響)

(著者：松本真由子、渡邊健志、宮川征男)

平成 19 年 12 月 Biomedical Research 28 巻 309 頁～314 頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、老齡雌ラットに対してエストロゲン補充療法を行い、排尿行動、膀胱内圧及び膀胱排尿筋ムスカリン受容体の  $M_2$  と  $M_3$  サブタイプに及ぼす影響について検討したものである。その結果、エストロゲン補充療法によりムスカリン作動薬に対する膀胱収縮力は増大し、膀胱排尿筋の  $M_3$  受容体が減少することを明らかにした。

本研究はエストロゲン補充療法の作用について新知見に富むものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。